

広報 すすらの里

2017年 8月号 No. 197

発行者

〒869-5161
八代市葭牟田町435番地
特別養護老人ホームすすらの里
Tel 0965-39-7511
Fax 0965-39-7512
施設長 福田道子

素敵な音色 ～二胡慰問～

7月26日(水)に宇城市不知火町より二胡演奏の慰問として『高瀬清一』さんがすすらの里に来里されました。



二胡を演奏される高瀬清一さん！琴筒はニシキヘビの皮で作られているそうですよ！

二胡とは中国の伝統的な弦楽器の一種であり、2本の弦を弓で弾く楽器です。

高瀬さんは10年間中国に二胡の勉強をするために留学されていたそうです。

留学中の話を交えながら、童謡や歌謡曲、中国で代表される曲などを演奏されました。また「愛燦燦」や「我は海の子」など知っている曲が流れると皆さん口ずさんでおられました。

二胡の美しい演奏でホール内を響きわたり、平江恵

さん(84)は、時折笑顔を見せながら聞き入ってておられました。



高瀬さん二胡という美しい音色の演奏ありがとうございました。

介護福祉士 上田有希

200号までがんばりました

『広報 すすらの里』は第1号発行から1回も休むことなく毎月発行しておりもうすぐ200号を迎えます。そこで初代の編集長からコメントをいただきました。

『広報 すすらの里』200号発行おめでとうございます。

初回から作成に携わっており、当時は1人で毎月の原稿や写真などのレイアウトに四苦八苦しながら、作成していたことを覚えています。

長く続けて行くことで、もっと読者にも興味を持ってもらおうとご利用者を紹介する『元気印シリーズ』を始めました。

6年後に引き継ぎをしてか

ら、今度は自分が読者となつて今も『元気印シリーズ』が続いていることに嬉しく思います。

これからも『広報 すすらの里』の繁栄を祈りながら自身も愛読できるように楽しみにしています。

通所介護係長

久木田英一郎



我が家の～ペット紹介～



入所棟、介護職員の濱田圭史朗くんは熱帯魚が大好きでアジアアロワナを飼っています。たまに、ヒレの病気になることがあり麻酔をかけて切除手術を行います。

この時期、水槽内を優雅に泳ぐアロワナをみて癒されているそうです。

広報誌における写真や記事は個人情報保護法に基づき本人およびご家族の承諾のうえ掲載しています。

土用の丑の日

豆知識

皆さんはなぜ土用の丑の日に鰻を食べるのか知っていますか？

「土用」とは土曜日、日曜日の「土曜」ではありません。立春、立夏、立秋、立冬の前の18日間を表した言葉です。

そして「丑」とは十二支の一つです。十二支は年の数えだけでなく方角や月日を数えるのにも使われています。つまり「土用の丑の日」とは春夏秋冬に1回もしくは2回ずつあるのです。しかし鰻を食べる文化があるのは立秋の前の「土用」だけです。

もともと「丑」の頭文字にちなんで「う」がつく食べ物を食べる習慣があり、鰻とは限りませんでした。



7月25日昼食時うな丼を完食され「元気ができました」と濱田フクエさん

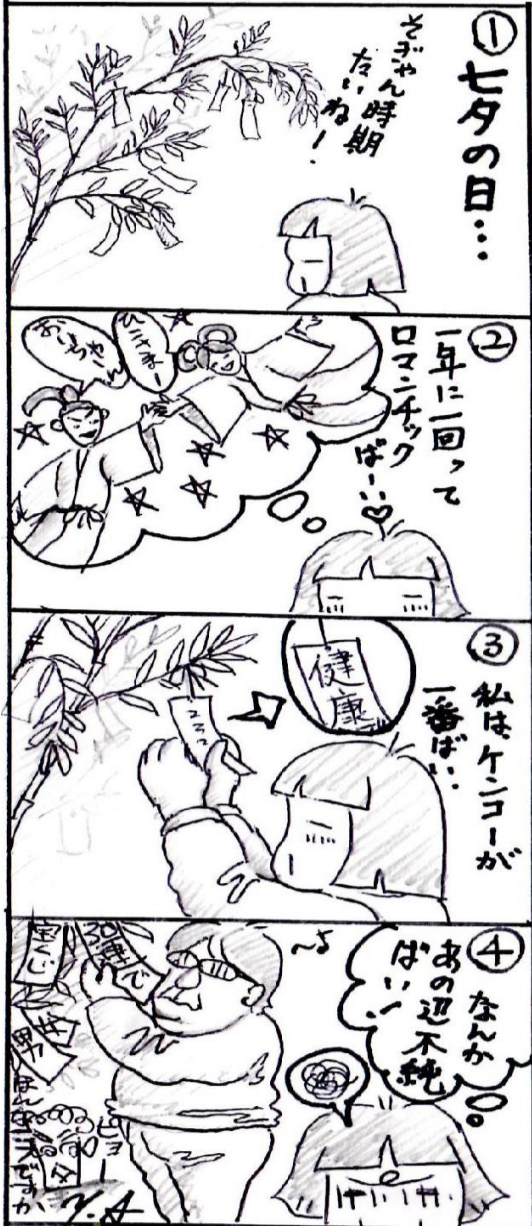
医師でもあった平賀源内が売れ残った鰻を処分する為に考案したと言われています。

現代でも季節の変わり目に体調の崩ししやすい土用に栄養豊富な鰻を食べることは健康にとっても良いと言われています。

皆さんも美味しいものをたくさん食べて健康な体を作りましょう。

介護福祉士 濱田 圭史朗

あるある 劇場



※七夕飾りの出来事です。皆さん健康を願って書かれています。しかし職員は... (笑)

祝 ~8月の誕生者~

- 中田 サ/様 (T9.8.25 97歳)
- 米 ヤス/様 (T12.8.18 94歳)
- 岩崎 サメ/様 (T12.8.30 94歳)
- 服部 秀子様 (S 4.8.24 88歳)
- 原 和子様 (S5.8.13 87歳)
- 山本 郁子様 (S8.8.29 84歳)

職員の休日

休みを利用して6月27日から2泊3日で東京旅行に友人と行ってきました。築地市場や雷門、東京デイズシーなどの巡りました。



休みを利用して東京観光を満喫した2階介護職員の植原智樹さん！ハットがとてもお似合いですよ！

修学旅行生や海外からの観光客も多く、どこも大いに賑わっていました。「さすが東京です。」
東京オリンピックではさらなる盛り上がりを見せる事でしょう。3年後の開催が楽しみです

